

関西出身職員の信州旅行

(松本市・塩尻市)

1泊2日で長野県を旅してきました。

観光地の情報としてご旅行の参考にしていただけたら幸いです。

.....ル-ト.....

平成 26 年 3 月 19 日(水) 松本市

(新大阪駅)=新幹線 & 特急しなの=(松本駅)=車=(四賀地区赤怒田福寿草群生地)=車=(旅館すぎもと・泊)

平成 26 年 3 月 20 日(木)

(旅館すぎもと)＝車＝(信濃ワイン・五一ワイン・井筒ワイン)＝車＝(塩尻駅)＝車＝(あかい靴)＝車＝(平出遺跡公園・平出遺跡公園博物館)＝車＝(塩尻駅)

.....

3月19日(水)

●松本市●

(四賀地区赤怒田福寿草群生地)

信州松本四賀の里・福寿草まつり。黄色くてかわいらしい福寿草が土手いっぱい咲いています。区域内には数十万株が自生しているのだとか。遊歩道が整備されており、上から下から見学できます。見ごろは例年3月中旬～4月上旬。斜面に沿って歩きますし、年によっては雪も残りますので、足元は歩きやすい靴でお出かけ下さい。

福寿草の花は空に向かって咲いていますので、下から見ても分かり辛く、上から見下ろした時に初めて「こんなに咲いてたのか！」と驚くことになります。今年は少し開花が遅れ、5分咲きといったところだったのですが、満開だともっと黄色くなるようです。カメラマンの姿も多く、皆さん思い思いに過ごされていました。

会場には飲食店の出店や売店、福寿草の鉢植え販売などもあります。



ぱっと色鮮やかな福寿草



遊歩道の様子(北アルプスが見えます)



上まで登ると結構高い！



下から見上げると分りにくいですが…



上から見下ろすとお花が！



雪も結構残っていました



飲食店や売店の入るドーム



中でお食事・お買い物ができます



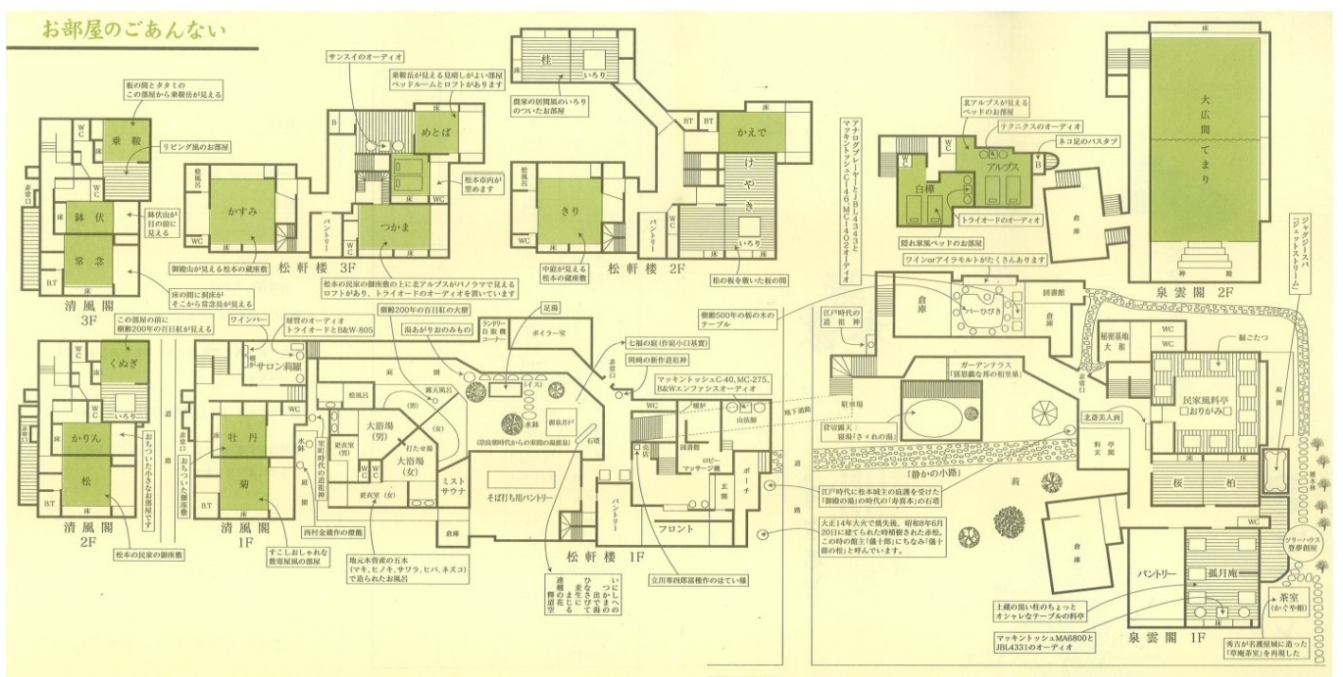
福寿草の販売も

(美ヶ原温泉・旅館すぎもと)

民芸のお宿・旅館すぎもと。入口の雰囲気は盛大に騙されるお宿です(もちろん良い意味で)。



まずは入口の大きさから想像の付かなかった「広さ」。



…油断していると迷子です。



お庭と足湯(奥が浴場)



まさかの地下通路



まさかのツリーハウス(脇にはお茶室も)

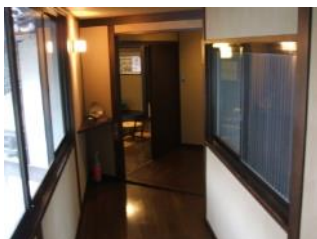
次に「インテリア」。正統派の純和風かと思いきや、ロビーにはソファ・暖炉・シャンデリア。季節のかわいらしいディスプレイ(今だとひな祭り)や器などがそこかしこに。重厚な家具でぐっと落ち着いたクラシカルで居心地の良い雰囲気です。



バーひびき

ロビー

お部屋もそれぞれ趣向が違うようで、一緒に行った方とは全く異なるお部屋でした。どちらも雰囲気が良く、ゆっくりとくつろげました。他にもロフト付きやベッドのお部屋もあるようです。



廊下から始まる「桂」



板の間・囲炉裏で農家の居間風



松本の蔵座敷風「霧」



檜風呂がありました

前評判も伺っていたお食事。噂に違わぬ美味しさです。信州ならではの季節の素材がふんだんに使われたお料理がこれでもかと出てきます。先着順で無くなるという「館主の手打ちそば」も頂けました(蕎麦粉 100%、これもまたとても美味しいです)。私のようにあまり飲めなくても美味しいのですが、お酒の飲める人にとっては本当にたまらないお料理だったのではないかと思います。

また、器や盛り付けがどれも素敵で、目で見ても楽しいお食事でした。





温泉はしっかりとよく温まるお湯。浴場は木や石のぬくもりを感じる造りでくつろげます。色々なシャンプーが揃えてあったのも嬉しいサービスでした。

一見、純和風の正統派旅館なのかなといった印象なのですが、中はまるで大きな秘密基地のようなお宿です。小さいころに憧れたツリーハウスや地下通路、隠れ家ロフトなどに心くすぐられたのも、きっとお客受けだけを狙ったのではなくお宿の方が好きで形にされたものなのだろうと感じたからだと思います。働いていらっしゃる皆さん、とても親切・丁寧で心地良く過ごすことができました。

本当に個人的な印象ですが、男性の方はきっと好きな雰囲気だと思います。

3月20日（木）

●塩尻市●

（桔梗ヶ原ワインバレー・老舗ワイナリーめぐり）

塩尻市桔梗ヶ原は日本のワインの先進地。高品質のぶどうが採れるのが大きな強みです。ワインの産地として有名な山梨県にも出荷されています。そんな桔梗ヶ原ワイナリー10ヵ所の内、「信濃ワイン」「林農園(五一わいん)」「井筒ワイン」3つのワイナリーを見学してきました。

まずは信濃ワイン。取締役の塩原様にご案内いただき、地下貯蔵庫の見学と試飲をさせていただきました。地下貯蔵庫で塩尻という土地の話、ワイナリーの成り立ち、貯蔵庫のことなどのお話を伺いました。クラシック音楽が流れ、年代物のワインや樽がジッと並べられている貯蔵庫にいますと、何だかワインが分かる気がしてくるから不思議です。樽からフワッと香るブランデーなど、非日常の雰囲気を楽しんできました。そしてその気分そのままに合計12種類ものワインを試飲してしまったのですが、それぞれどれも美味しく、違いを楽しめました。ワイナリーフェスタで信濃ワイン1番人気の「雪花」（甘くてみずみずしいにがりワインです）は梅田阪神百貨店でのお取り扱いがあるそうです。

地下貯蔵庫の見学は随時行われているようですが、農場・工場の見学をご希望の方は要予約です。2階には広い研修室があり、団体のお客様はそちらで試飲されるそうです。

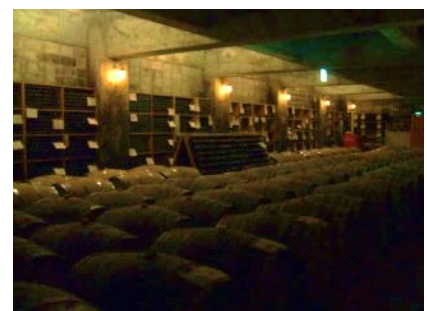
ワイン造りの副産物「手作りの信濃ぶどうジャム」も美味しそうでした。



信濃ワイン 外観



品ぞろえ豊富なショップ



雰囲気ある地下貯蔵庫

次は林農園(五一わいん)。塩尻で一番古いワイナリーです。山形県からメルローの枝を持ち帰り、桔梗ヶ原に初めて栽培した、いわば桔梗ヶ原メルローのパイオニアです。代表取締役の林様に、国産ワイン・塩尻桔梗ヶ原ワインの今後や、ワイン造りを続けるにあたっての道のり、塩尻の歴史や国産ワインを造ることに対する思いなどを伺いました。デザートワイン「氷果の雫 白」を頂いたことがあったのですが、お話を伺った今だとその時感じた味も変わる気がします。ワインは作り手や栽培環境などバックヤードも含めて楽しむと味が一層広がるのだなと実感しました。

現在のところ工場の見学はされていませんが、農場は自由に見学できます。照明を抑えた雰囲気の良いショップで試飲もされています。

この時期にぴったりな桜の花入りワイン「花の想いで」。可愛らしくてお土産にも喜ばれると思います。



林農園(五一わいん) 外観



樽の椅子が雰囲気あるショップ



桜の花入りワイン「花の想いで」

最後は井筒ワイン。こちらではショップを見学させて頂きました。広々としてゆったりした店内で、落ち着いた空間。奥の試飲コーナーで試飲できるようです。農場・工場の見学は要予約。

美味しそうなワインももちろん気になるのですが、試食したワインカステラが美味しかったです。しっとりとしていて、ワインの味と香りが広がりました。



井筒ワイン 外観



広々とした店内

(あかい靴)

このあたりのB級グルメと言えば「山賊焼き」。山賊焼きとは、一枚ものの鶏もも・鶏むね肉をにんにくの効いた醤油だれに漬けて片栗粉をまぶし、カラッと揚げたものです。駅前のこちらのお店で山賊焼き定食を頂きました。ボリューム満点で、運ばれてきたときは「これはもう無理だ!」と思ったのですが、食べ始めるとザクザク&ジューシーで止まらなくなり、とても美味しかったです。



ボリューム満点の山賊焼き定食



食後の紅茶

（平出遺跡公園）

大洞山をバックに幻想的な雰囲気。吉野ヶ里遺跡・登呂遺跡と共に日本3大遺跡である平出遺跡は、縄文時代・古墳時代・平安時代の複合遺跡です。平出遺跡公園はそれぞれの時代を復元して整備し、人々がどのように暮らしたのかを感じられる場所になっています。この日は雨が降っていたため見えませんが、天気の良い日には穂高連峰も見えるそうです。平出博物館には平出遺跡はもちろん塩尻の歴史や民俗などについての展示があり、見ごたえがあります。日本一大きいという菖蒲沢窯跡出土瓦塔の展示も迫力がありました。

まだ雪が深かったため博物館の奥の歴史公園を見ることができなかったのですが、それでもかなり広かったので、時間を取ってゆっくり見学した方が良いと思います。遺跡にご興味のある方はもちろん、今のところ無いという方も興味深く過ごすことができると思います。



モモ園



ガイダンス棟



古墳時代の村



古墳時代の家の内部



縄文の村 廃村エリア



縄文の村 集落エリア



縄文の村 家の内部



平安時代の村



平出博物館

（塩尻駅・塩尻市観光協会）

整備され、きれいになった塩尻駅。観光地としてだけではなく長野県観光の中継地点としても活躍している駅です。駅舎脇には塩尻市観光協会がありますので観光資料や情報を得ていくことができますし、駅舎1階、観光協会隣にお土産の購入できるお店がありますので便利です。駅構内ではぶどう(ナイアガラ)が栽培されており、季節になると甘い香りが漂います。2人入るといっぱいになってしまう小さな駅そば屋さんも話のタネに良さそうです。



塩尻駅舎



塩尻市観光協会の入る建物



内部



バリアフリーのトイレ



お土産物屋さん



駅構内で栽培しているぶどう(ナイアガラ)

・・・まとめ・・・

「百聞は一見にしかず」とはよく言ったもので、今回訪れた全ての場所で「想像していたものと違う」と感じてきました。実際に訪れて感じる風、匂い、味、あと足の疲れ等までが良い思い出になり、誌面や画面だけ見ていた時と全く違う印象となりました。

今年は雪が多かったこともあり、まだまだ冬といった印象でしたが、これからだんだんと暖くなり、見てきた場所もまた違った印象を残すのだらうと思います。見てきたことを踏まえて、また最新情報も得ながらこれからのPR・ご案内に生かしていきたいと思います。

パンフレットや情報をご用意してお待ちしておりますので、大阪駅前第一ビル8階・長野県大阪観光情報センターへ是非お立ち寄りください。